

令和6年度第1回岩手県政策評価専門委員会

日 時 令和6年7月16日（火）10:00～12:00
場 所 エスポワールいわて 3階 特別ホール

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 令和5年度主要施策の成果に関する説明書の作成状況について

(2) その他

3 閉 会

岩手県政策評価専門委員会委員名簿(五十音順)

氏 名	職 名	備 考
いち しま むね のり 市 島 宗 典	白鷗大学法学部 教授	
いつかいち ち か 五日市 知 香	株式会社パイロットフィッシュ 代表取締役	
たけ むら さち こ 竹 村 祥 子	浦和大学社会学部 教授	副専門委員長 WEB 出席
もり なお こ 森 直 子	一般財団法人機械振興協会経済研究所 研究副主幹	WEB出席
よし の ひで き 吉 野 英 岐	岩手県立大学総合政策学部 教授	専門委員長
わ がわ ひろし 和 川 央	岩手県立大学宮古短期大学部 准教授	

(敬称略)

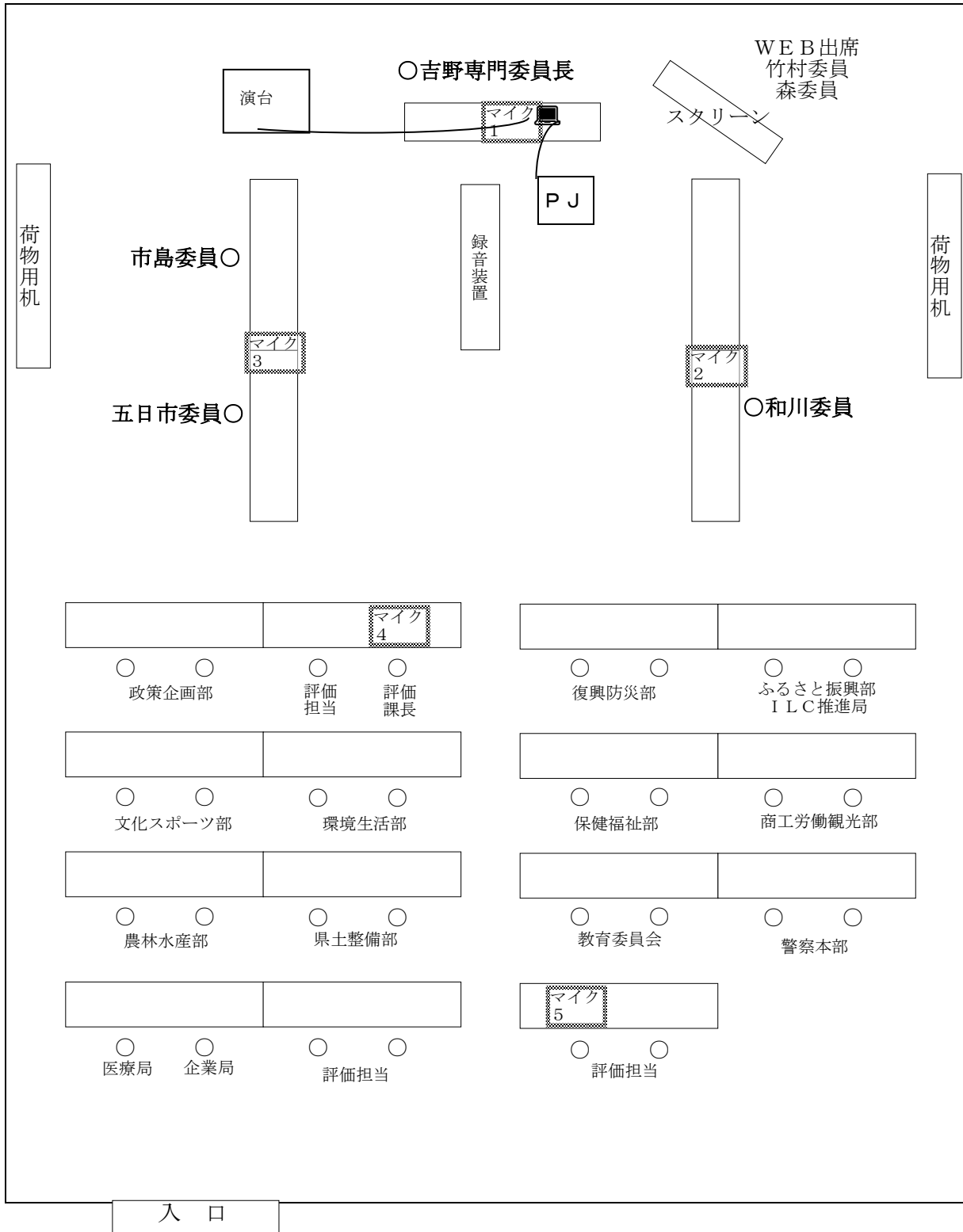
< 配布資料一覧 >

- 資料No. 1 令和5年度主要施策の成果に関する説明書の作成状況について
- 資料No. 2 政策評価における「県民意識の状況」の基準年の変更について

令和6年度第1回岩手県政策評価専門委員会 座席表

日時：令和6年7月16日（火）10：00～12：00

会場：エスポワールいわて 3階 特別ホール



令和5年度 主要施策の成果に関する説明書の作成状況について

- 本資料は、現在取りまとめ中の資料であり、今後、内容が変更される場合があります。
- 本資料は、県議会9月定例会への提出資料となりますので、取扱には御留意願います。

1 位置付け

- (1) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 県行政に関する基本的な計画の議決に関する条例(平成15年岩手県条例第59号)第5条の規定に基づく県議会への報告書類

2 内容と構成

- (1) 「いわて県民計画(2019~2028)」の第2期アクションプラン・政策推進プラン(令和5年度~令和8年度)に掲げる各種指標の令和5年度目標に対する同年度末時点の達成状況を示すもの
- (2) 10の政策分野及び50の政策項目について、指標の達成状況、主な取組事項、指標一覧表などを掲載

3 政策推進プランの達成状況

(1) いわて幸福関連指標 76 (85) ※の「概ね達成【B】」以上の割合は74%となりました。
※ 指標数の()内は、未確定等指標を含む全指標数。(2)において同じ。

<10の政策分野の状況>

- 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
 「Ⅶ 歴史・文化」100% (3指標のうち3指標)
 「Ⅷ 自然環境」100% (5指標のうち5指標)
- 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
 「Ⅴ 安全」60% (5指標のうち3指標)
 「Ⅰ 健康・余暇」50% (8指標のうち4指標)

(2) 具体的推進方策指標 453 (490) の「概ね達成【B】」以上の割合は84%となりました。

<10の政策分野の状況>

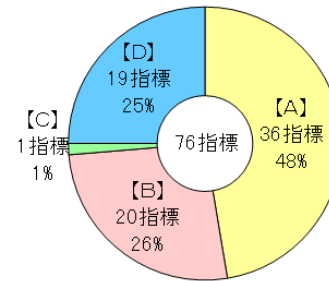
- 「達成【A】」・「概ね達成【B】」の割合が高い政策分野
 「Ⅶ 歴史・文化」100% (7指標のうち7指標)
 「Ⅷ 自然環境」92% (25指標のうち23指標)
- 「やや遅れ【C】」・「遅れ【D】」の割合が高い政策分野
 「Ⅴ 安全」24% (29指標のうち7指標)
 「Ⅲ 教育」20% (94指標のうち19指標)

(3) 令和8年度の最終目標に対する進捗状況(計画期間4年間の1年目時点)について、進捗率25%以上の指標は、いわて幸福関連指標が50%、具体的推進方策指標が74%となりました。

(4) 年度後半に実施する「政策形成支援評価」では、今回の指標の達成状況と併せ、社会経済情勢も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

- いわて幸福関連指標:10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標
- 具体的推進方策指標:県が主体となって具体に取り組む施策に関連する客観的な指標
- 達成度の見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

(1) いわて幸福関連指標の達成状況



「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
 56指標(74%)

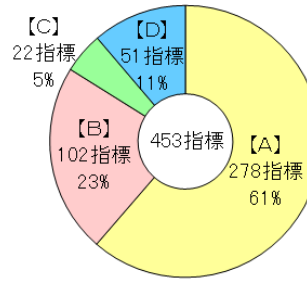
「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
 20指標(26%)

<10の政策分野ごとの達成状況>

政策分野	指標数	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】
I 健康・余暇	8	4 (50%)	0 (0%)	1 (13%)	3 (38%)
II 家族・子育て	7	3 (43%)	1 (14%)	0 (0%)	3 (43%)
III 教育	18	6 (33%)	9 (50%)	0 (0%)	3 (17%)
IV 居住環境・コミュニティ	5	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (40%)
V 安全	5	2 (40%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (60%)
VI 仕事・収入	13	6 (46%)	5 (39%)	0 (0%)	2 (15%)
VII 歴史・文化	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
VIII 自然環境	5	2 (40%)	3 (60%)	0 (0%)	0 (0%)
IX 社会基盤	5	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	2 (40%)
X 参画	7	5 (71%)	1 (14%)	0 (0%)	1 (14%)

注:構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

(2) 具体的推進方策指標の達成状況



「達成【A】」又は「概ね達成【B】」
 380指標(84%)

「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」
 73指標(16%)

(3) 最終目標(令和8年度)に対する進捗状況

政策分野名	いわて幸福関連指標		具体的推進方策指標	
	25%以上	25%未満	25%以上	25%未満
I 健康・余暇	4 (50%)	4 (50%)	41 (67%)	20 (33%)
II 家族・子育て	3 (43%)	4 (57%)	38 (81%)	9 (19%)
III 教育	6 (33%)	12 (67%)	62 (66%)	32 (34%)
IV 居住環境・コミュニティ	4 (80%)	1 (20%)	28 (88%)	4 (13%)
V 安全	2 (40%)	3 (60%)	19 (66%)	10 (34%)
VI 仕事・収入	8 (62%)	5 (38%)	75 (80%)	19 (20%)
VII 歴史・文化	3 (100%)	0 (0%)	5 (71%)	2 (29%)
VIII 自然環境	2 (40%)	3 (60%)	20 (80%)	5 (20%)
IX 社会基盤	2 (40%)	3 (60%)	29 (71%)	12 (29%)
X 参画	4 (57%)	3 (43%)	16 (70%)	7 (30%)
合計	38 (50%)	38 (50%)	333 (74%)	120 (26%)

注:構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

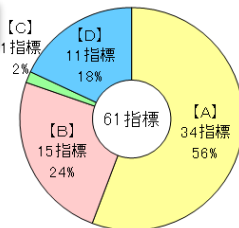
4 10の政策分野ごとの具体的推進方策の状況

凡例 ①「概ね達成【B】」以上の指標が半分以上の主な具体的推進方策
②「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」の指標が見られる主な具体的推進方策

I 健康・余暇 <「概ね達成【B】」以上の割合 80%>

- ①「認知症施策の推進」、「多様な学習機会の充実」等
- ②「地域包括ケアのまちづくり」等

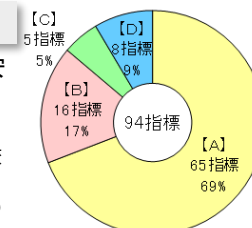
地域ケア推進会議において政策提言を実施している市町村数：推進会議を開催していない市町村や、会議を開催していても政策提言を実施していない市町村への個別の働きかけが十分ではなかったため、実施市町村数が伸び悩みました。



VI 仕事・収入 <「概ね達成【B】」以上の割合 86%>

- ①「ものづくり産業の生産性・付加価値向上の加速化」、「安全・安心な産地づくりの推進」等
- ②「県内就業の促進及びU・ターンによる人材確保の推進」等

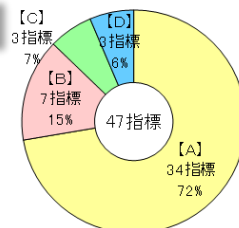
岩手県内に将来働いてみたいと思う企業がある高校生の割合：学校の授業やインターネット等において、県内企業の情報や県内で働くイメージを十分に浸透させることができず、「今は分からない」の回答が約6割を占めました。



II 家族・子育て <「概ね達成【B】」以上の割合 87%>

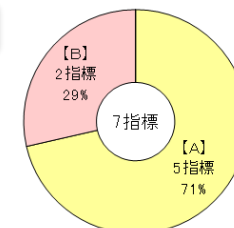
- ①「学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり」、「愛着を持てる地域づくりの推進」等
- ②「子どもが健やかに成長できる環境の整備」等

里親登録組数：里親の新規登録数は増加傾向にあるものの、高齢化などにより里親登録を削除する里親も多くなりました。



VII 歴史・文化 <「概ね達成【B】」以上の割合 100%>

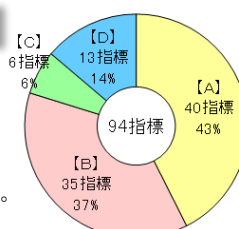
- ①「世界遺産の適切な保存管理と拡張登録の推進」、「伝統文化、文化財などを活用した交流の推進」等
- ② 該当なし



III 教育 <「概ね達成【B】」以上の割合 80%>

- ①「適切な部活動体制の推進」、「魅力ある学校づくりの推進」等
- ②「岩手と世界をつなぐ人材の育成」等

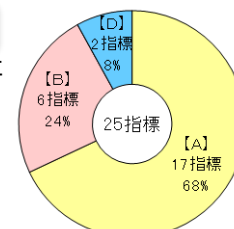
中学3年生、高校3年生において求められる英語力を有している生徒の割合：普段の授業の成果をより確実にし、英語の学習意欲を高めるような取組や、検定等を受検する機会が十分ではありませんでした。



VIII 自然環境 <「概ね達成【B】」以上の割合 92%>

- ①「三陸ジオパークに関する取組の推進」、「廃棄物の発生抑制・再利用・再生利用の推進」等
- ②「適切な森林整備等の取組推進による吸収源対策」等

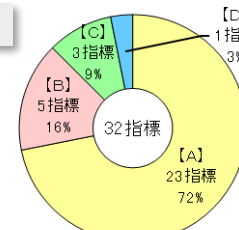
再造林面積：令和4年度の804haと比較し増加したものの、木材の需要減に伴う主伐面積の減少が続き、その後の再造林の面積も減少しました。



IV 居住環境・コミュニティ <「概ね達成【B】」以上の割合 88%>

- ①「快適で魅力あるまちづくりの推進」、「文化芸術を生かした人的・経済的交流の推進」等
- ②「地域公共交通の利用促進」等

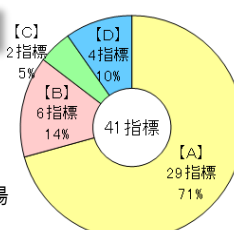
三陸鉄道の年間利用者数：少子化による通学定期券の利用の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で増加した自家用車による子の送迎などから三陸鉄道への利用の回帰が進まず、また、観光・団体利用をはじめとした定期外利用の回復に遅れが見られました。



IX 社会基盤 <「概ね達成【B】」以上の割合 85%>

- ①「日常生活を支える安全な道づくりの推進」、「県民との協働による維持管理の推進」等
- ②「港湾の整備と利活用の促進」等

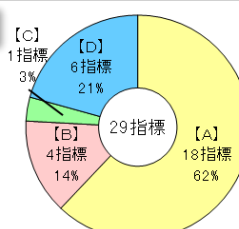
港湾におけるコンテナ貨物取扱数（実入り）：荷主である県内の紙・パルプ関連工場における一時的な生産停止や北米・欧州の仕向先工場の閉鎖等が重なったことにより、輸出量が減少しました。



V 安全 <「概ね達成【B】」以上の割合 76%>

- ①「食の信頼向上の推進」、「感染症の感染拡大に備えたワクチン接種体制と情報発信の強化」等
- ②「交通事故抑止対策の推進」等

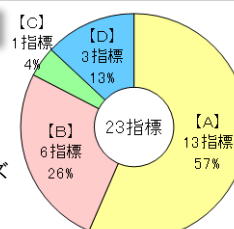
交通事故死傷者数：20年連続で減少したものの、類型別では「人対車」の事故が増加し、年代別では60歳以上のドライバーの事故が増加しました。



X 参画 <「概ね達成【B】」以上の割合 83%>

- ①「若者の活躍支援」、「官民連携による県民運動の展開」等
- ②「多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備」等

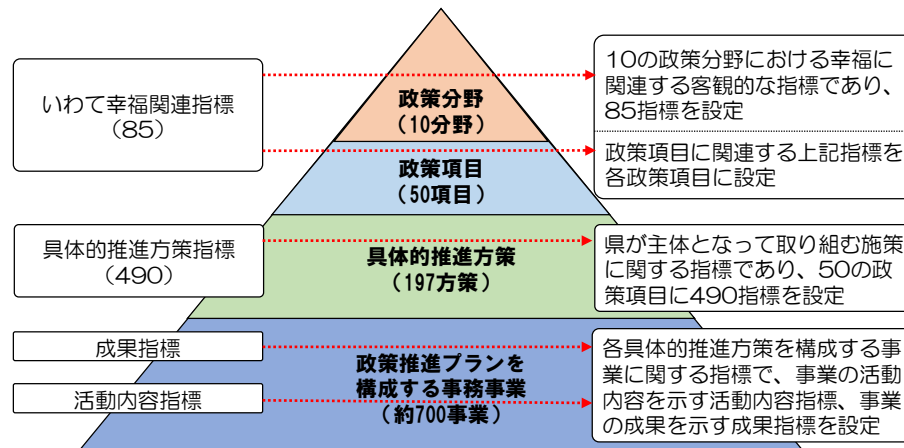
男女共同参画サポーターの男性認定者数【累計】：男性の受講ニーズと講座内容のミスマッチなどにより、認定者数が伸び悩みました。



いわて県民計画（2019～2028） 政策推進プランの政策体系

いわて県民計画（2019～2028）の推進に当たっては、「第2期アクションプラン・政策推進プラン（令和5年度～令和8年度）」において、10の政策分野の取組を推進するため、50の政策項目ごとに取組の基本方向等を示しています。

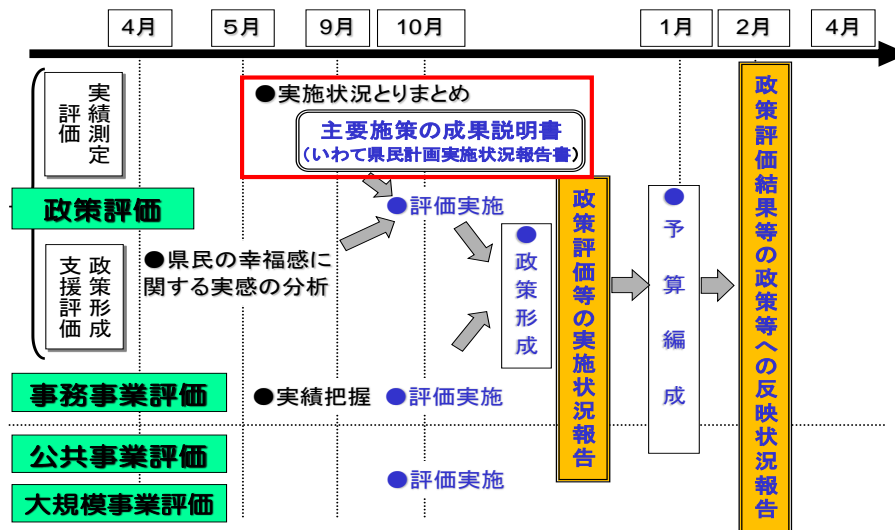
【基本目標】 東日本大震災津波の経験に基づき、引き続き復興に取り組みながら、お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて



岩手県の政策評価の流れ

岩手県の政策評価は、「政策等の評価に関する条例」に基づき、11月までに実施することとしており、その実施に当たっては、2段階で評価を行うこととしています。

- **実績測定評価（主要施策の成果に関する説明書）〈今回〉**
→ 費用と指標の実績を把握し、進捗に遅れが見られる場合にあっては、その理由を整理するもの。9月議会報告。
- **政策形成支援評価（政策評価等の実施報告書（政策評価レポート））**
→ 政策（政策分野・政策項目）ごとに、指標の進捗状況に加えて、県民意識や社会経済情勢等を踏まえて、課題を分析し、今後の方向を整理するもの。12月議会報告。

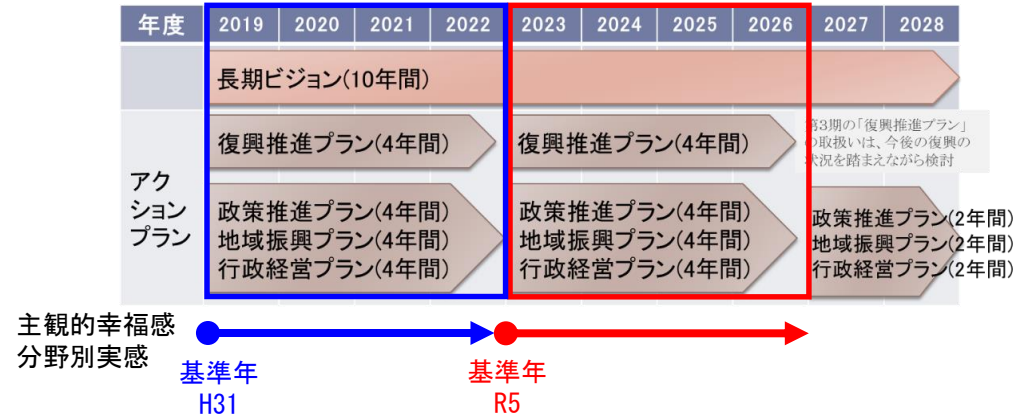


政策評価における「県民意識の状況」の基準年の変更について

県では、県民の幸福を守り育てることを基本目標に掲げており、**県民の幸福感（主観的幸福感・分野別実感）を政策評価に反映させるため**、「いわて県民計画（2019～2028）・第1期政策推進プラン」が始まる直前の平成31年を基準年として、毎年1～2月に実施する県民意識調査において、県民の幸福感の推移等を把握してきたところ。

令和5年度から「第2期政策推進プラン」が始まったことから、**県民の幸福感の基準年を令和5年に変更するとともに**、「政策評価レポート2024」から「**県民意識の状況**」の記載を以下のとおり変更するもの。

「いわて県民計画（2019～2028）」とアクションプランの期間



変更前（政策評価レポート2023抜粋）

県民意識の状況

◎ 県民意識調査の結果

調査項目	分野別実感の平均値		比較
	基準年[H31]	実績値[R5]	
(心身の健康) こころやからだ健康だと感じますか	3.00	3.18	上昇
(余暇の充実) 余暇が充実していると感じますか	3.05	2.93	低下

(特記事項)

県民意識調査の分析結果

「余暇の充実」が低下したのは、「自由な時間が十分に確保できなかったこと」「知人・友人との交流が減ったこと」などが要因と推測されます。

また、「余暇の充実」のなかで、調査を開始した平成28年から令和5年まで、分野別実感の平均値が継続して3点未満で推移している属性は、「年代：40～49歳、50～59歳」などとなり、「自由な時間が十分に確保できなかったこと」、「趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないこと」及び「知人・友人との交流が少ないこと」などが要因と推測されます。

変更後（政策評価レポート2024イメージ）

県民意識の状況

◎ 県民意識調査の結果

H31は参考、R5を基準年とする。

調査項目	分野別実感の平均値			基準年との比較
	参考[H31]	基準年[R5]	実績値[R6]	
(心身の健康) こころやからだ健康だと感じますか	3.00	3.18	3.22	横ばい
(余暇の充実) 余暇が充実していると感じますか	3.05	2.93	3.02	上昇

(特記事項)

県民意識調査の分析結果

「余暇の充実」のなかで、調査を開始した平成28年から令和6年まで、分野別実感の平均値が継続して3点未満で推移している属性は、「〇〇〇」などとなり、「〇〇〇〇〇」、「〇〇〇〇〇」及び「〇〇〇〇〇〇」などが要因と推測されます。

岩手県総合計画審議会「**県民の幸福感に関する分析部会**」における分析結果を記載する。